

**第６回海洋ロボットコンペティション概要**

１．大会趣旨

　　我が国は広大な海域を有しており、多様な海洋資源を活用した新産業創出が進んでいます。沖縄近海においても海底熱水鉱床や潮力・波力等の多様な海洋資源が存在しており、沖縄県の「沖縄２１世紀ビジョン」では、次世代のリーディング産業の一つとして海洋産業を掲げています。

　このような背景より、海洋産業における海洋ロボットは有望分野であることから、このたび当該分野の研究・教育等の活性化を目指し「第６回 沖縄海洋ロボットコンペティション」（以下、海洋ロボコン）を開催します。

　本大会は高等教育機関や企業等の研究開発成果を発表する場となり、また県民や児童生徒・学生にとって沖縄の海洋資源関連産業や海洋ロボットの可能性について理解を深める場となります。

２．競技部門

１）ＡＵＶ部門　（Autonomous Underwater Vehicle：自律型水中ロボット）

２）ＲＯＶ部門　（Remotely Operated Vehicle：遠隔操縦水中ロボット）

３）フリースタイル部門（ビデオ審査）

４）知能・計測チャレンジ部門

①AUVタスク

②ROVタスク

３．日時及び会場

１）令和２年１１月　７日（土） 練習航行　　　　 （宜野湾新漁港）

プレゼンテーション （宜野湾マリン支援センター）

８日（日） 競技　　　　　 （宜野湾新漁港）

　　※コロナウイルス感染症拡大状況により、オンラインで開催される可能性があります。

４．主催等

　１）主催　沖縄海洋ロボットコンペティション実行委員会

　２）共催　沖縄職業能力開発大学校、沖縄工業高等専門学校、琉球大学地域連携推進機構、

極東建設（株）